

山本総領事より新年の御挨拶

在ハバロフスク日本国総領事館ホームページをご覧の皆様



平成 27 年 4 月に在ハバロフスク日本国総領事として当地に赴任し、早くも 2 年半が過ぎました。これまでにインドの 2 倍ほどになる広大な管轄地域内の主要都市をくまなく訪問し、現地の知事、市長をはじめとする多くの人々と交流をすることができました。当館は、日本とロシア極東・東シベリア地域の経済交流、文化交流、人的交流の活発化を三本柱として取り組んでおり、昨年は、日露首脳会談が 4 回も行われ二国間関係が活発化する中皆様から様々なご支援を頂き、多くの成果を挙げることができました。

経済交流については、昨年 2 月ハバロフスク市で、日本製の最新医療機器を利用する日露医療診断センター「SAIKO」がオープンしました。

また、ハバロフスク地方及びサハ共和国の先行発展領域で、日本企業は野菜の温室栽培プロジェクトを進めています。いずれも順調であり、ハバロフスクでは 12 月に JGC Evergreen 社の第二期温室建設工事の竣工式が開催されました。

今後も、当館は日本センターと共に、日露企業間のビジネスマッチングに取り組み、更なる日本企業の進出を支援したいと考えています。

文化交流については、これまで築いたネットワークを活用して、管轄内の各都市で独創的なイベントを開催しました。6 月にはハバロフスク市とイルクーツク市で、観光促進・日本文化フェスティバル「祭り 2017」を開催しました。二都市で合計 2400 人が来場し、来場者からは好評を得ることができました。また、ホームページ、Facebook 及び VKontakte の公式アカウントから、活発に情報発信しています。

人的交流については、一昨年 12 月にプーチン大統領が訪日した際、日本政府は、ロシア国民に対するビザ発給要件の緩和を発表しました。当館の査証発給数も増加しており、昨年 1～11 月のビザ発給数は前年比で約 1.5 倍、そのうち観光目的のビザ発給数は前年比で約 2.6 倍に増加しました。

今年は日露両首脳間で合意された日露交流年であり、当館としては、「ロシアにおける日本年」に、観光、経済、文化、青年、スポーツ、自治体等あらゆる分野において交流促進に積極的に取り組みたいと思います。主な交流事業についてご紹介すると、1 月 25 と 27 日、ハバロフスク市で「ロシアにおける日本年」の始まりを記念して和太鼓グループ「彩」がコンサートを開催します。5 月末にはヤクーツク市とハバロフスク市で「祭り 2018」を開催し、ハバロフスクでは市創設 160 周年に花を添えたいと考えています。9 月中頃には日本から来た青年団がハバロフスクからイルクーツクまでのシベリア鉄道沿線主要都市で交流をする「日露友好列車」を計画しています。

今年も、総領事館は皆様のお力添えと御協力を頂きながら、様々な活動を通じて日露関係の潜在力を最大限引き出せるよう努力して参りますので、ご支援お願い申し上げます。

平成 30 年 1 月
在ハバロフスク日本国総領事
山本 広行